

## 4 安定した水道水の供給に対する取組み

### 安定した水道水の供給に対する取組みについてお聞きします

問5 水道局では、災害などの非常時においても安定して水道水を供給するために施設を新しくしたり、改良するなどの取組みを進めています。

そこで、下記【取組み例】を参考のうえ、下のア～ウの取組みについて、あなたが思う「満足度」を、それぞれ選んでください。（○は1つだけ）

#### 【取組み例】 ～新潟市水道事業中長期経営計画より～

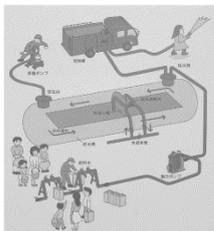
目標：いつでもどこでも必要水量を供給	
ア. 水道施設の耐震化	浄水場や配水場等の耐震化を計画的に推進するとともに、配水管の整備や更新時に、地震に強い管を採用していきます。また、地震等による断水被害を極力限定・縮小化するために、配水管の管理区域の細分化（ブロック化）を推進するとともに、ブロック間の水道水の相互融通が可能となる整備を進めます。
イ. 応急給水体制等の整備	災害が発生した場合に、迅速かつ確実な応急給水や災害復旧が可能となるよう、引き続き、施設・器具及び備品を整備します。
ウ. 計画的な配水管の整備	経年劣化に伴う漏水事故を未然に防止するため、配水管の更新を進めるとともに、今後の都市計画区域などの動向を踏まえ、計画的な配水管の整備を行います。

	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
<b>ア. の取組み</b> 浄水場などの水道施設の耐震化や地震に強い配水管の採用など、地震が起こったときにも必要な水を供給するための取組み	5	4	3	2	1
<b>イ. の取組み</b> 水道管の一部が事故や災害などで破損した場合に、速やかに応急給水を行えるよう機材等の整備を行うとともに、他都市や民間業者との応援協定を締結するなど応急給水体制の整備	5	4	3	2	1
<b>ウ. の取組み</b> 古くなった水道施設を計画的に新しくするなど、将来にわたって安定して水を供給するための取組み	5	4	3	2	1

問 5-1 災害などの非常時に対する取組みの中で、優先的に実施した方がよいと思う取組みはどれですか。次の中から3つ選び、○をつけてください。

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1 浄水場などの水道施設の耐震化                     |
| 2 地震に強い配水管への入替えによる耐震化                |
| 3 病院などの重要施設向け配水管の耐震化                 |
| 4 災害時に一定量の飲料水等を確保する緊急貯水槽などの応急給水設備の整備 |
| 5 給水車・仮設給水栓・キャンバス水槽などの応急給水用具の整備      |
| 6 ペットボトル水などの備蓄                       |

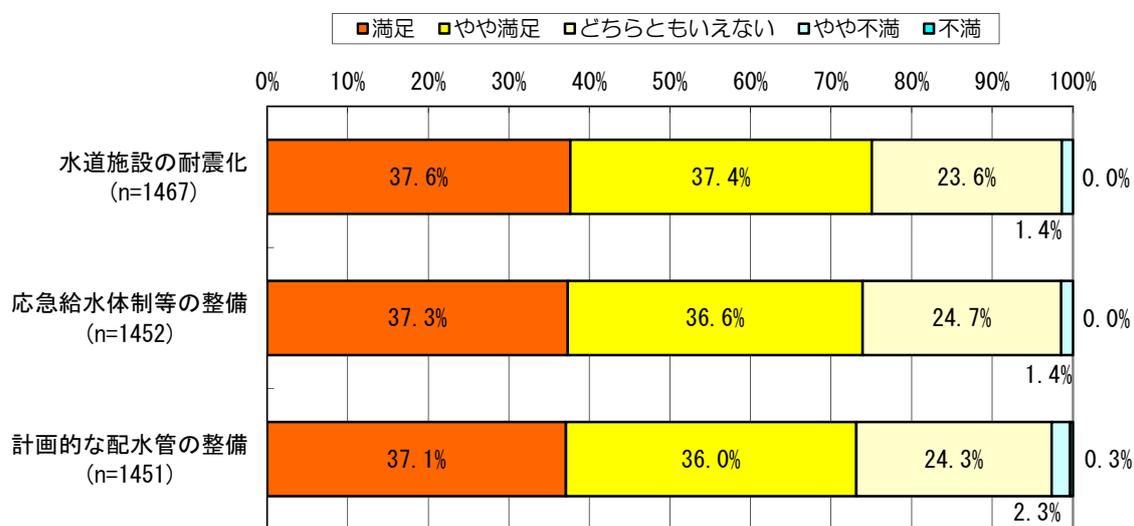
緊急貯水槽イメージ図



キャンバス水槽・仮設給水栓

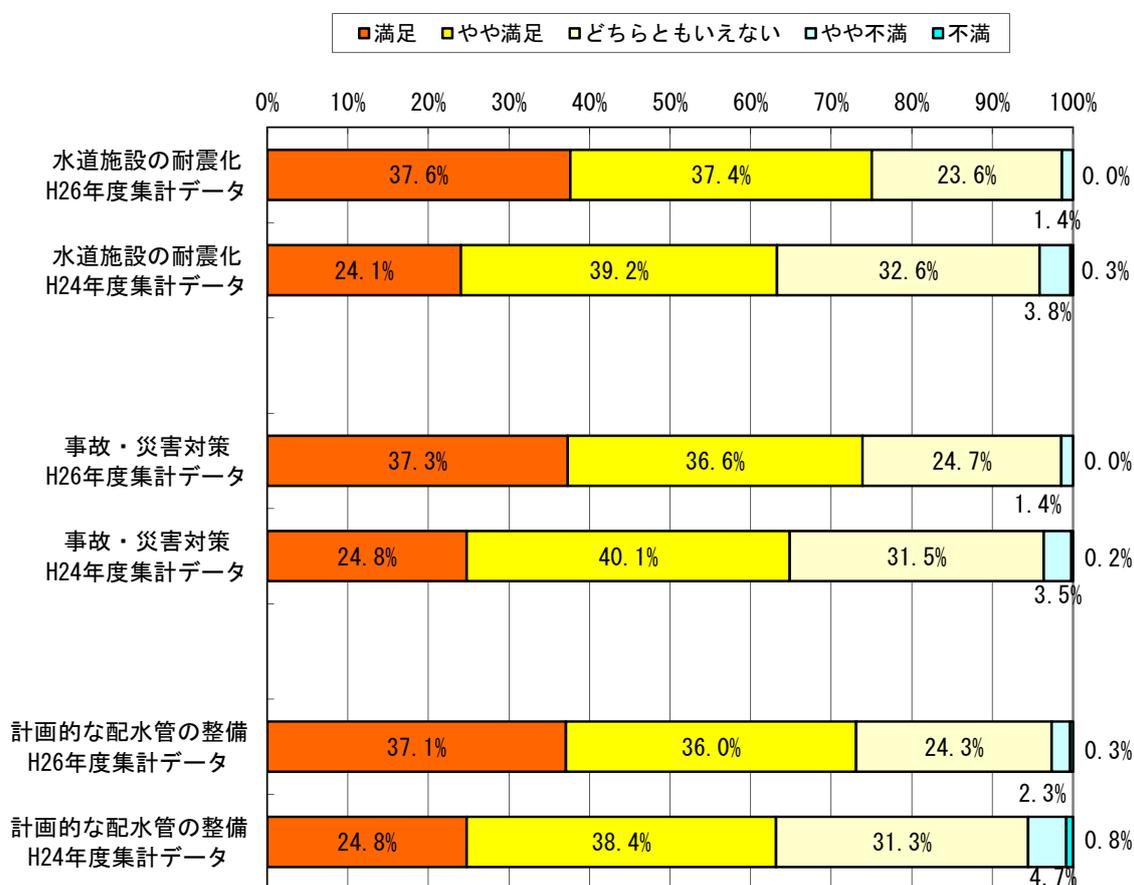


## 安定した水道水の供給への満足度



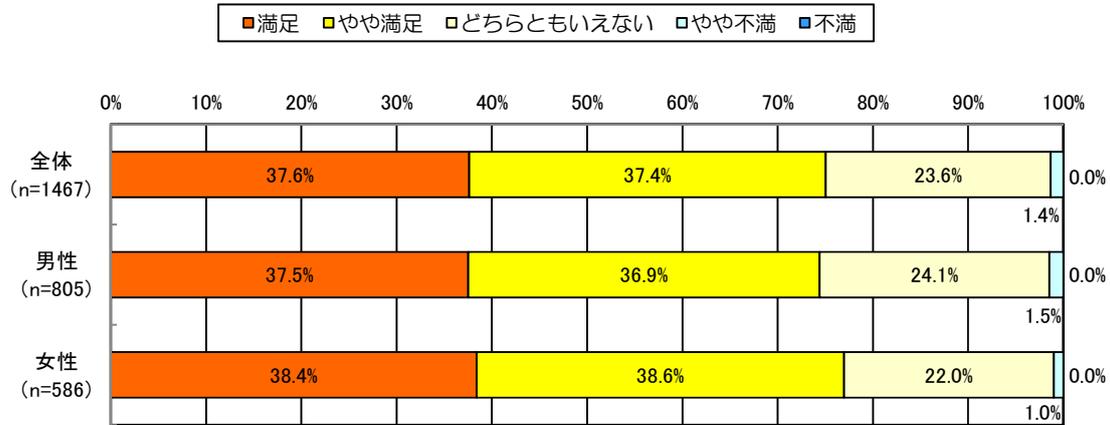
「安定した水の供給」に対する満足度をみると、『満足』『やや満足』を合わせた数値は、「水道施設の耐震化」が75.0%、「応急給水体制等の整備」が73.9%、「計画的な配水管の整備」が73.1%となっている。

(安定した水道水の供給への満足度の経年比較)

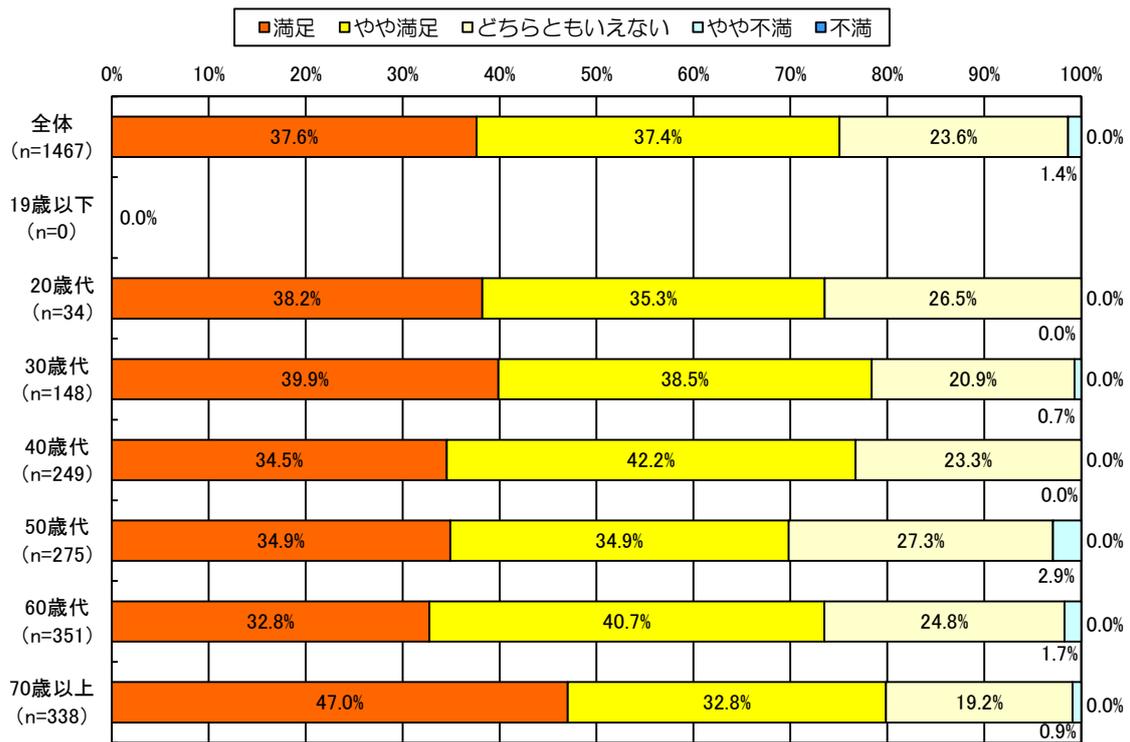


安定した水の供給への「満足度」を調査したものをH24年度に調査したデータと比較した。全ての項目で『満足』『やや満足』の合計割合が70%を超え、大幅に増加している。

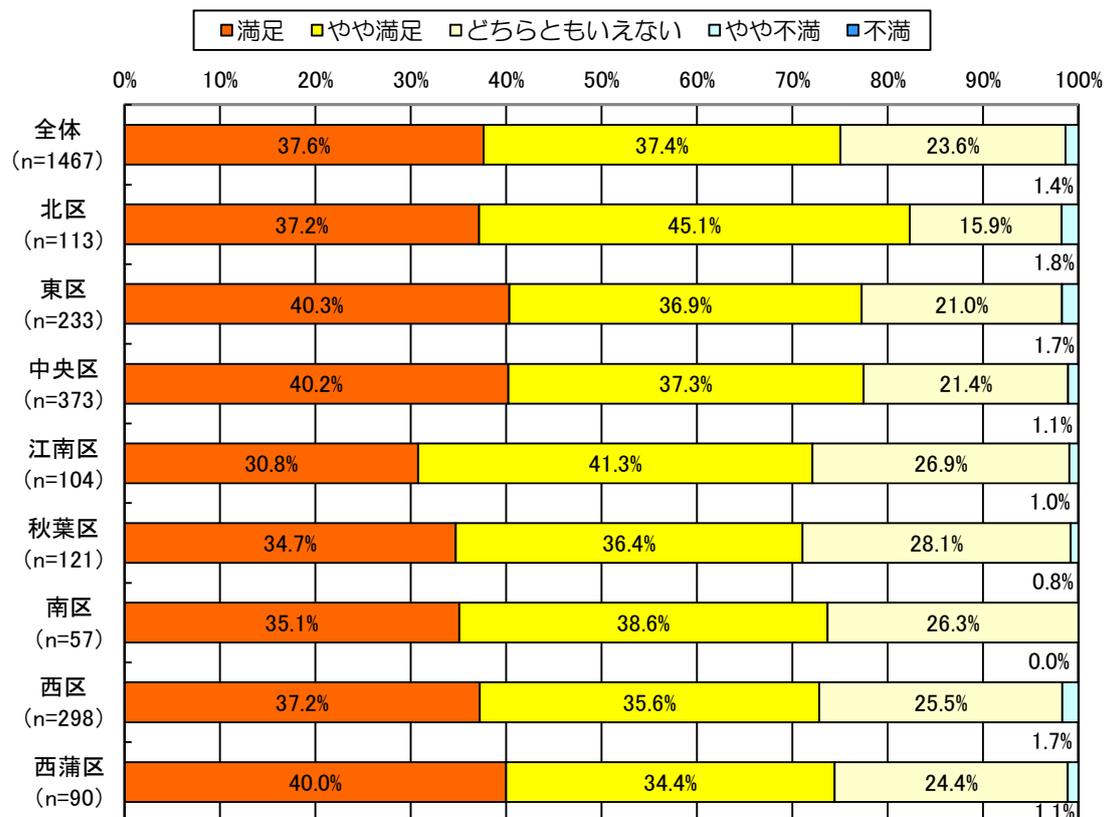
①水道施設の耐震化に対する満足度



性別では、『満足』『やや満足』と答えた人の割合が、男性が74.4%、女性が77.0%で、女性のほうが2.6%高くなっている。

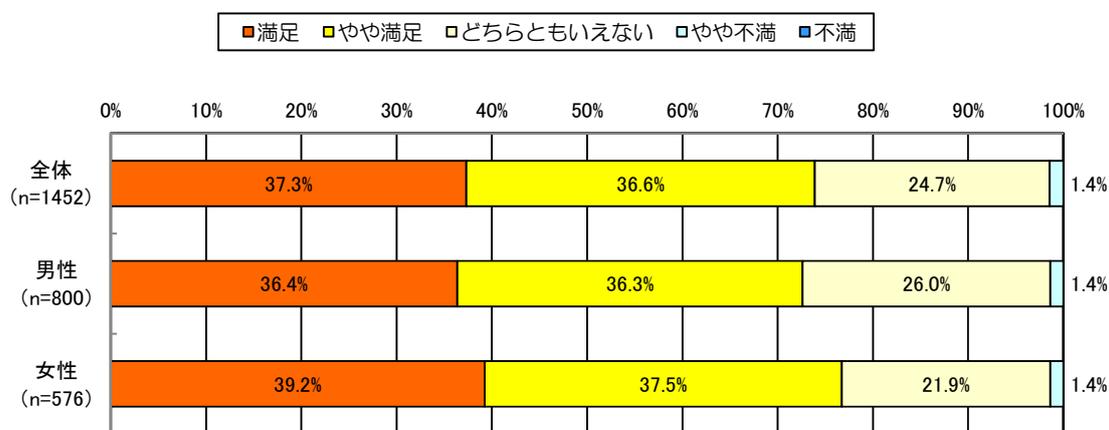


年代別では、無回答の19歳以下を除き、『満足』『やや満足』と答えた人の割合が、全ての年代でほぼ7割以上と高くなっている。

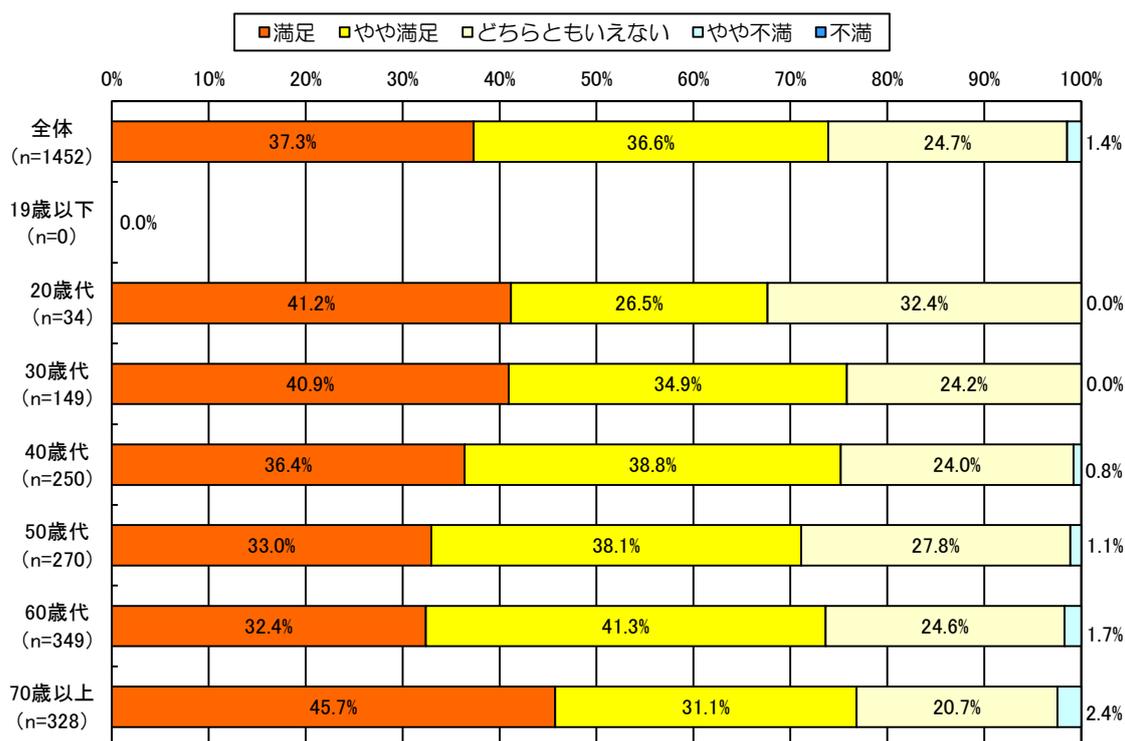


居住区別にみると、北区の満足度が最も高く82.3%で、以下中央区の77.5%、東区77.2%、西蒲区の74.4%、南区の73.7%と続き、全ての区で70%を超えている。

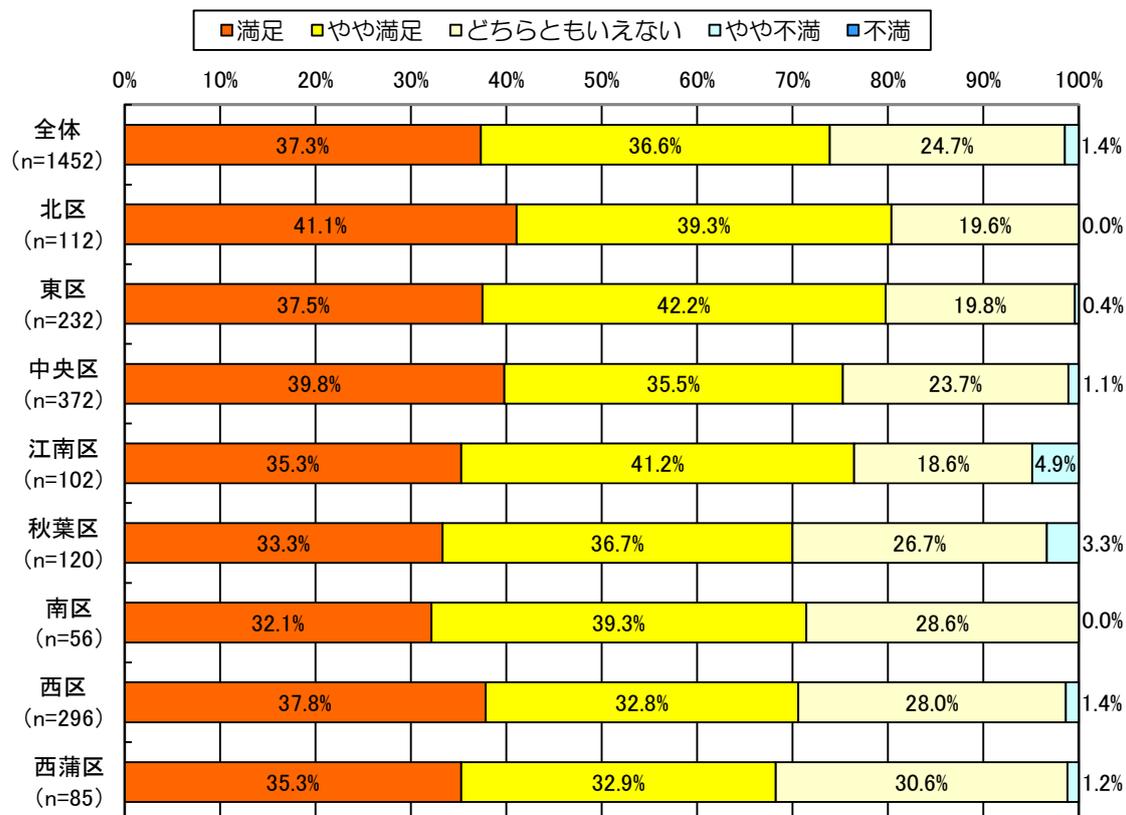
## ② 応急給水体制等の整備に対する満足度



性別では、男性の『満足』『やや満足』と答えた割合が72.7%、女性の『満足』『やや満足』と答えた割合が76.7%となっており、女性の満足度のほうが高くなっている。

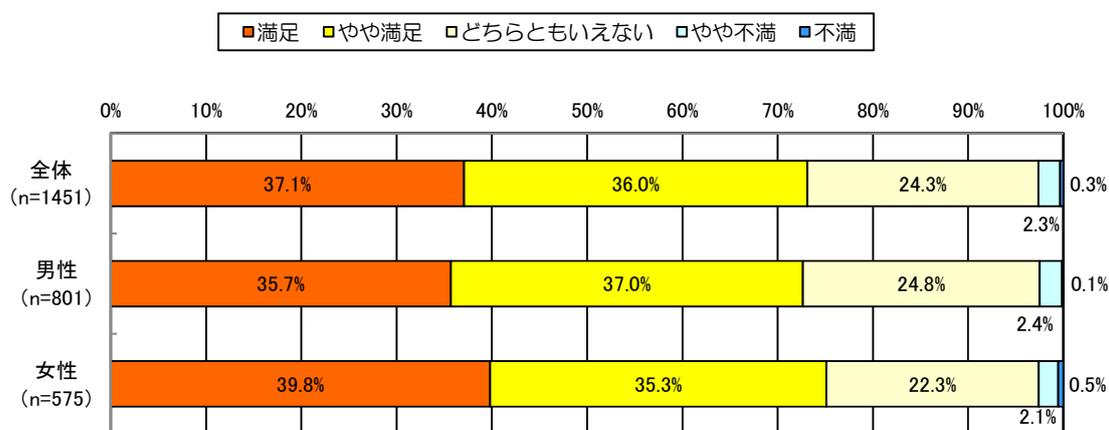


年代別では、『満足』『やや満足』と答えた人の割合は、20歳代が67.7%と最も低く、70歳以上が76.8%と最も高い割合となっている。

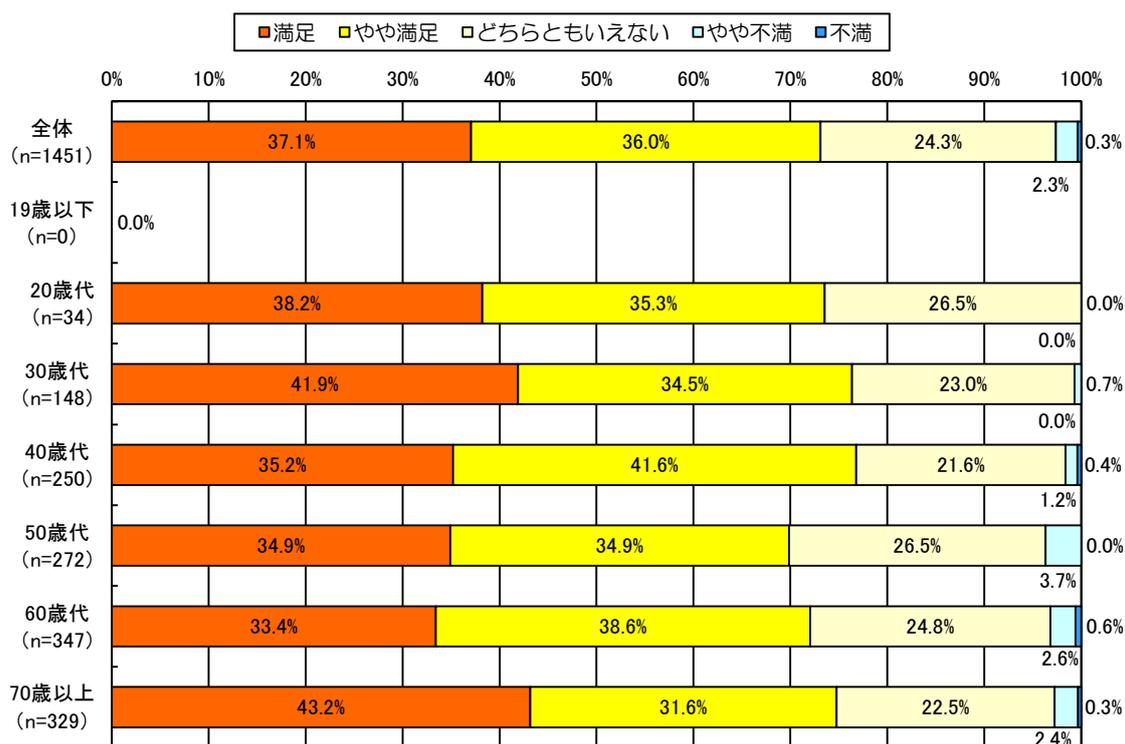


居住区別では、『満足』『やや満足』と答えた人の割合は北区で最も高く80.4%、以下東区の79.7%、江南区の76.5%、中央区の75.3%と続く。

### ③計画的な配水管の整備の取組みに対する満足度

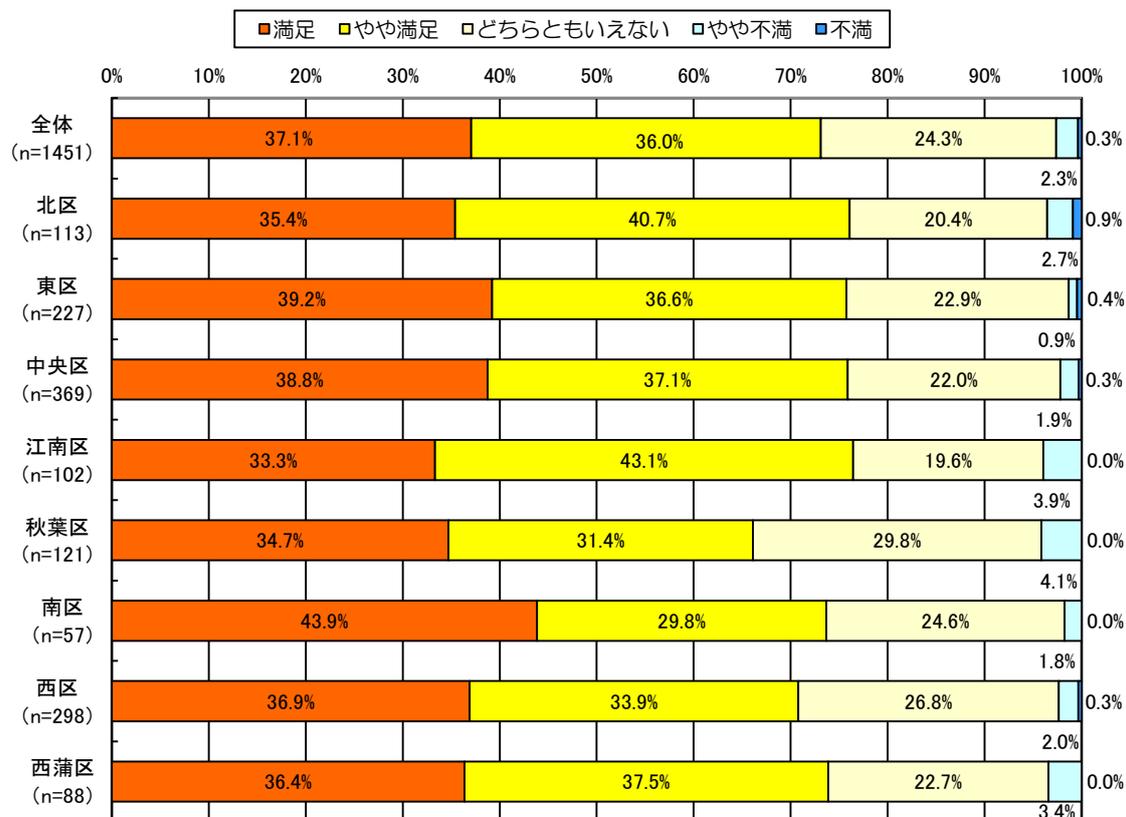


『満足』『やや満足』と答えた人の割合は、男性が72.7%、女性が75.1%で、女性が2.4%高くなっている。



年代別では、『満足』『やや満足』は一番高い数値は40歳代で76.8%、30歳代で76.4%、70歳以上で74.8%と続く。

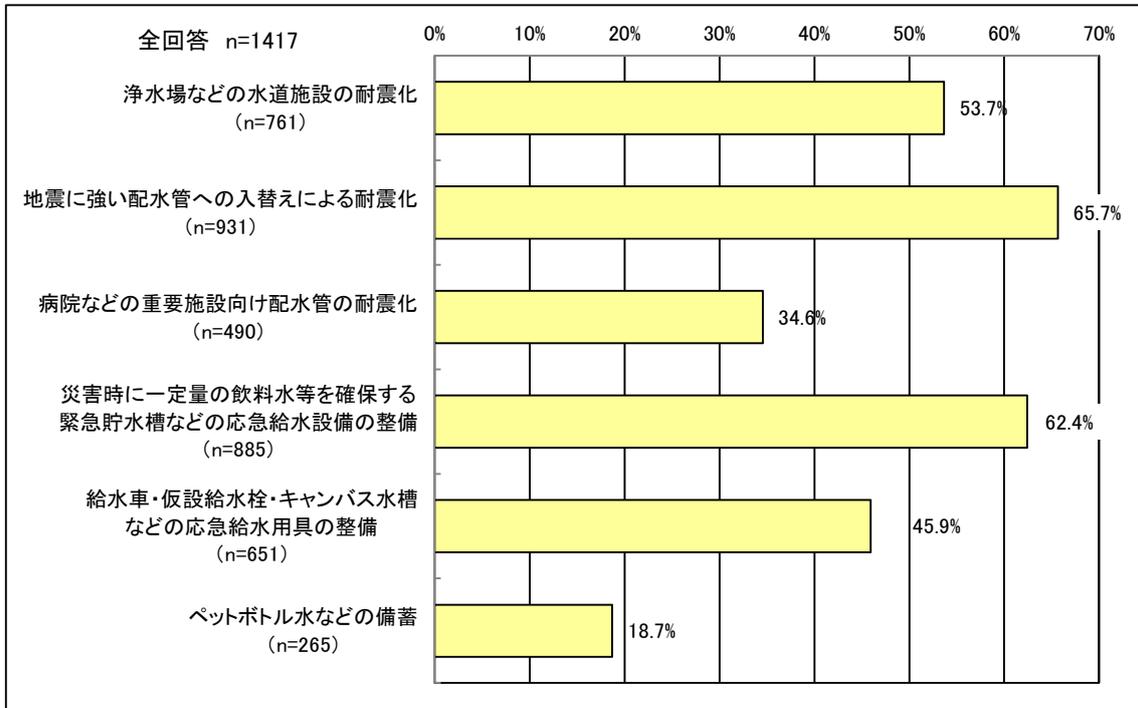
30歳代は『不満』『やや不満』も少なく、0.7%となっており、20歳代はゼロで全くない。



居住区別にみると、『満足』『やや満足』と答えた人の割合は、江南区で最も多く76.4%、ついで北区の76.1%、中央区の75.9%、東区の75.8%とつづく。

(5) 災害時の取組みへの優先度

災害などの非常時に対する取組みの中で、優先的に実施した方がよいと思う取組み(3つ)



「病院などの重要施設向け配水管の耐震化」が34.6%とやや低いが、「地震に強い配水管への入替えによる耐震化」65.7%、「浄水場などの水道施設の耐震化」53.7%と耐震化に対しては高い割合がみられる。一方で「ペットボトル水などの備蓄」は18.7%と設問の中では低い値となった。これは各家庭での取組みとして考えられているからと思われる。